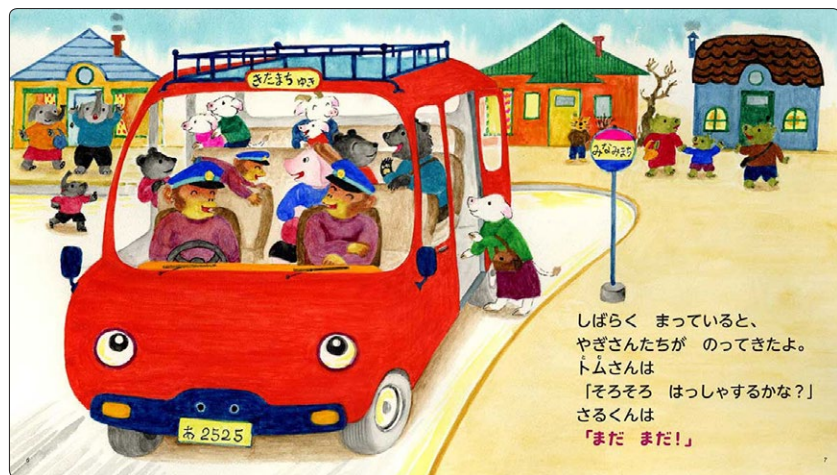


こころえほん

まだ まだ！

●作・絵／吉本 宗

トムさんは「きたまち」まで行くため、バスに乗りました。でも、バスはなかなか発車しません。「もうはっしやるかな?」「まだまだ!」の掛け合いが楽しい絵本です。



ワンポイント アドバイス

同じ場面設定が続く2～11 ページは、だんだんバスが混んでくるようすやバスの表情、バス停に近づいてくる動物の動きなどに注目しながら、絵の変化を楽しみましょう。繰り返して出てくる「まだまだ!」のセリフをみんなで声に出してみてもよいですね。

来月号は「へんしん けいと」です。お楽しみに!

キンダーメルヘン

おちゃわんぼうやの おつかい

●作・絵／いわさきさとこ

おちゃわんぼうやの家はお弁当屋さん。忙しいお父さんのかわりにお弁当の配達のお手伝いをします。配達していくなかで、街にはいろいろな仕事があることを知り、働く人への感謝の気持ちや働くことの楽しさに気づいていきます。



ワンポイント アドバイス

街で働くいろいろな人が登場します。働く人たちのおかげで、街やそこに住む人たちが支えられていることに注目してみましょう。おちゃわんぼうやの配達も、どなべじいさんを支える大事な仕事でした。勤労感謝の日に併せて読んで、世の中の仕事への興味を高めましょう。



来月号は「りゅうの ちょうせんじょう」です。お楽しみに!

キンダーおはなしえほん

みみずん

●作・絵／かべやふよう

ひきこもりのみみず「みみずん」は毎日ぐうたら寝てばかり。ある日、みみずむらに天敵べろりんちょが現れて住人は大騒ぎ。そんななか、逃げ遅れたみみずんは、絶体絶命の大ピンチに……!



ワンポイント アドバイス

みみずむらの住人は救助隊員のおかげで無事に避難しますが、みみずんがいなくなることがわかって大慌て! というシーンです。地下のみみずむらのようすや、救助隊員の働きぶり、個性豊かな住人たちなどをじっくり見てみてください。

来月号は「はちかづきひめ」です。お楽しみに!

キンダーむかしむかしライブラリー

ぶんぶくちやがま

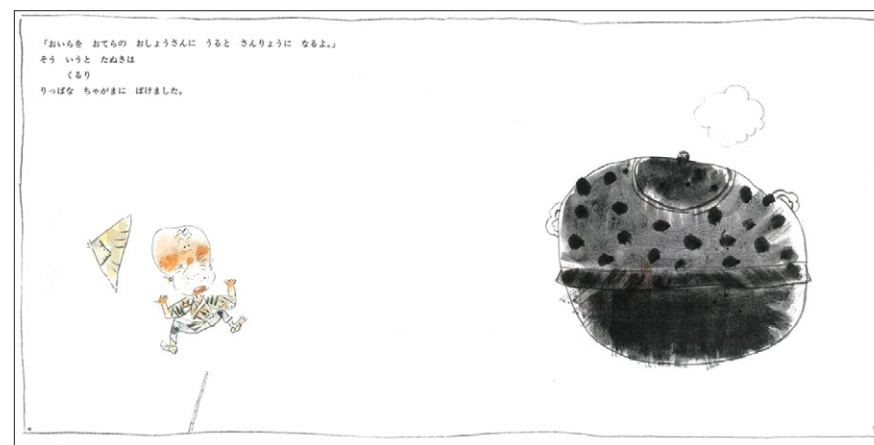
●文／岡本一郎 絵／村上 豊

村の外れに住む貧しいおじいさんとおばあさん。おじいさんは街へ出かけますが、買えたのはわずかばかりの食べ物だけ。しょんぼり帰ってくると、たぬきがひょいと顔を出し、自分をお寺の和尚さんに売れと言って茶釜に化けて……。



ワンポイント アドバイス

たぬきが出てくる昔話のなかでも、もっとも親しみやすくユーモアにあふれた作品のひとつです。茶釜に化けたたぬきのこっけいな場面だけでなく、やさしいおじいさんとたぬきの心温まるふれあいの場面もみどころです。



来月号は「12つきの おくりもの」です。お楽しみに!